

第 1 号報告

事業報告書

－ 2025 年度 －

(第 17 期)

自：2025 年 4 月 1 日

至：2026 年 3 月 31 日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	2025 年 3 月 31 日現在	入会者	退会者	2026 年 3 月 31 日現在
正会員	113	29	17	125
学生会員	12	10	11	11
賛助会員	10	1	1	10
公益会員	5	0	0	5
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	140	40	29	151

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 中川 慎二 会長
理事 秋山 善克
理事 荒木 康宏
理事 大島 聡史
理事 川畑 真一
理事 酒井 秀久
理事 高木 洋平
理事 出川 智啓
理事 西 剛伺
理事 福江 高志
理事 森本 賢治
監事 田村 守淑

主たる事務所の住所

東京都港区南青山二丁目 2 番 15 号 ウィン青山 942

事務局の住所等

東京都港区南青山二丁目 2 番 15 号 ウィン青山 942

TEL: 080-9280-3892

2 事業活動報告

2025 年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

2.1 社員総会

2.1.1 定時社員総会

開催日時

2025 年 6 月 14 日(土曜日) 16:50-17:50

開催場所

横浜国立大学船舶海洋工学棟 303 講義室

正会員現在数及び定足数

正会員現在数：119名 定足数：60名

出席正会員数： 76名

(内訳)

出席者数： 15名

電磁的方法による委任： 61名

うち

議長を代理人にする者： 61名

議事

報告事項 第1号報告	『2024年度事業報告』	
決議事項 第1号議案	『2024年度決算報告』	可決
第2号議案	『2025年度事業計画』	可決
第3号議案	『2025年度収支予算』	可決
第4号議案	『理事及び監事の改選』	可決
第5号議案	『2026年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』	可決

2.2 公益目的事業

2.2.1 催事

2.2.1.1 2025年度オープン CAE 講習会 (実行委員長：酒井理事)

開催日

2025年6月14日

開催場所

横浜国立大学 船舶海洋工学棟 303 講義室 & Zoom オンライン ハイブリッド

概要

講習会 (OpenModelica 中級、SalomeMeca 構造解析入門と初級、OpenFOAM 応用編(燃焼解析)、OpenFOAM 熱流体解析入門と初級) ※詳細な内容については学会ホームページ参照

<https://www.opencae.or.jp/activity/training/training2025june/>

参加者

講習会：42名 (全コース累計)

特記事項：トレーニングの一部を、(社)日本機械学会計算力学技術者試験 2 級(固体力学分野、熱流体力学分野)の受験要件となる認定講習会として実施した。

2.2.1.2 オープン CAE シンポジウム 2025 (実行委員長：西理事)

開催日

2025年12月11日(トレーニング)、12月12日(講演会、懇親会)、12月13日(講演会)

開催場所

足利商工会議所友愛会館、Zoom オンライン (講演会、トレーニング)

概要

トレーニング、講演会、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

https://www.opencae.or.jp/activity/symposium/opencae_symposium2025/

参加者

講演会：107名（現地 67 名、オンライン 40 名）、トレーニング：103 名（現地 45 名、オンライン 58 名）、懇親会：42 名

特記事項：トレーニングの一部を、(社)日本機械学会計算力学技術者試験 2 級(固体力学分野、熱流体力学分野)の受験要件となる認定講習会として実施した。

2.2.1.3 オープン CAE サマースクール 2025（実行委員長：高木理事）

開催日

2025 年 8 月 29 日～8 月 31 日

開催場所

近江希望が丘 ユースホステル

概要

OpenFOAM 初級編及び機械学会計算力学技術者認定講習会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照 https://www.opencae.or.jp/activity/summerschool/opencae_summerschool2025/

参加者

現地 8 名、オンライン 6 名

2.2.1.4 オープン CAE 講習会（実行委員長：酒井理事）

開催日

2026 年 3 月 14 日

開催場所

岐阜ハートフルスクエア & Zoom オンラインハイブリッド開催

概要

講習会（格子ボルツマン法による流体解析 OpenLB 講習会）※詳細な内容については学会ホームページ参照 <https://www.opencae.or.jp/training2026march/>

参加者

32 名（現地参加 10 名、オンライン参加 22 名）

2.2.2 委員会活動

2.2.2.1 学術研究委員会（委員長：大島理事）

V&V 小委員会、モデルベースデザイン小委員会、HPC 小委員会に加えて新たに AI・機械学習小委員会を設置し、4 小委員会体制で活動を行った。

2.2.2.1.1 V&V 小委員会（委員長：出川理事）

V&V の活動推進活動を検討し、実施に向けて情報の整理や調整を進めた。

2.2.2.1.2 モデルベースデザイン小委員会（委員長：西理事）

OpenModelica 及び Modelica の利用推進活動として、総会付帯講習会において「OpenModelica 中級編」、オープン CAE シンポジウム 2025 トレーニングにおいて「OpenModelica による熱流体システムモデリング」を実施した。また、研究活動の成果報告の場として、オープン CAE シンポジウム 2025 において「モデルベース設計」セッションが設定された。

2.2.2.1.3 HPC 小委員会（委員長：大島理事）

スーパーコンピュータシステム上でのオープン CAE ソフトウェア利用に関する情報の共有や提供、オープン CAE ソフトウェアの性能評価・性能改善を行うことを目的に活動した。学会として、東京大学 (JCAHPC) の Miyabi の利用を申請し、「OpenFOAM の GPU 移行検討勉強会」を実施した。

2.2.2.1.4 AI・機械学習小委員会 (委員長：片山)

OSS の CAE もしくは機械学習・AI アプリに関する内容について、オープン CAE シンポジウム 2025 において AI・最適化セッションが設定され、生成 AI 活用事例 3 件、機械学習によるサロゲートモデル関連 1 件の発表を実施した。また、LLM を使用した講演会 2026 年 2 月開催の関西 CAE 懇話会で 1 件の生成 AI 活用事例を発表した。

2.2.2.2 広報・コミュニティ委員会 (委員長：森本理事)

広報活動の一環として、会員向けのニュースレターを配信した。賛助会員向けの活動として、対面開催となったシンポジウムでのチラシ配布・会員紹介・広告動画放送などを実施した。

勉強会後援規定に基づき、後援勉強会の申請を審議し、承認および更新を行った。YouTube に後援勉強会の動画をアップロードし、勉強会を通じてオープン CAE のコミュニティを知ってもらうための情報媒体を拡大した。X (旧 Twitter) を通して、各種情報発信を行い、オープン CAE 学会の活動を周知するための活動を行った。

会員同士の交流の媒体として、新たに学会誌を発行した。

2.2.2.3 Web 編集委員会 (委員長：高木理事)

各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、情報を集積して学会活動の一般への広報を促進した。WordPress を利用して新規 Web コンテンツを随時更新し、会員が学会が発信する情報を速やかに入手できるように運営した。

2.2.2.4 出版・編集委員会 (委員長：高木理事)

論文集、技術報告の募集を行った。2025 年に論文集にて 1 編の出版を行った。また、2025 年度より学会誌を 4 半期に 1 号ずつ編纂・出版を行った。

2.2.2.5 国際化推進委員会 (委員長：中川会長)

本学会の活動に関する OpenFOAM Wiki の記事を更新した。学会ウェブサイトの英語での学会紹介ページを更新した。

2.2.2.6 講習会委員会 (委員長：酒井理事)

総会付帯講習 6 コマ(2025/6/14 横浜 OpenFOAM 入門, 初級, SalomeMeca 入門, 初級, OpenFOAM 応用編(燃焼), OpenModelica 中級編), シンポジウムでの付帯講習 7 コマ(2025/12/11 足利 OpenFOAM 入門, 初級, OpenFOAM 応用(機械学会連携, データ科学), AI を用いた OpenFOAM 速習法, PrePoMax による固体の熱伝導解析, Gmsh 入門, OpenModelica 熱流体モデル)を実施した。いずれも収支は黒字であり、盛況であった。2026 年 3 月 14 日に春季講習会として、「OpenLB 講習」をオンライン+岐阜のハートフルスクエアで開催した。

熱流体と固体分野については引き続き日本機械学会認定講習会としての認定を受けた。

日本機械学会計算力学技術者資格認定事業の協賛団体となった。本学会イベント参加により業務継続証明書に代わるポイントの取得が可能となった。

2.2.2.7 資料翻訳委員会 (委員長：小山)

ParaView Documentation の和訳および公開システムの運用を継続した。ParaView 開発元の更新に対応して和訳の更新を実施した。OpenCFD 社版の OpenFOAM ユーザーガイドの和訳に向けた検討を進めた。

2.2.2.8 表彰委員会 (委員長：福江理事)

2025 年度の田辺賞受賞者を選考し、藤岡照高様に決定した。オープン CAE シンポジウム 2025 における優秀学生講演賞受賞者を、細川歩夢氏 (富山県立大学)、市川浩希氏 (富山県立大学)、日江井颯斗氏 (岐阜工業高等専門学校) に決定した。これらの受賞者をオープン CAE シンポジウム 2025 において表彰した。学会ウェブサイトで表彰情報を公開した。

2.2.2.9 情報セキュリティ委員会 (委員長：川畑理事)

情報セキュリティポリシーおよび情報セキュリティガイドラインの作成、改定を行った。理事、事務局を対象にセキュリティ教育を実施した。

2.3 収益事業

2.3.1 講師派遣事業

収益事業としての講師派遣はなかった。

2.4 理事会

2.4.1 第 1 回理事会

開催場所	オンライン
開催日時	2025 年 5 月 24 日 13 時 00 分～17 時 30 分
議案等 協議事項	1. 総会について 2. 次年度理事会構成について 3. オープン CAE シンポジウム 2025 について 4. AI・機械学習小委員会の設立について
報告事項	1. 講習会委員会 2. オープン CAE サマースクール 2025 3. 広報、コミュニティ委員会 4. 情報セキュリティ委員会 5. Web 編集委員会 6. 出版、編集委員会 7. 国際化推進委員会 8. 資料翻訳委員会 9. モデルベースデザイン小委員会 10. V&V 小委員会 11. HPC 小委員会 12. 表彰委員会 13. Web サイト運営 14. その他

会議の概要

(協議事項)

- 1 総会資料を確認し、追記修正が依頼された。当日の運営スケジュールが確認された。
- 2 新理事候補者の現況を確認した。条件を確認した上で、理事への就任を依頼することを決定した。
- 3 開催方法について議論した。
- 4 新たに AI・機械学習に関する委員会を設立することを決定した。学術委員会の小委員会とする。

(報告事項)

- 1 春季講習会が 3 月 15 日に開催され、無事に終了した。参加者は 18 名であった。6 月 14 日に開催する総会付帯講習会の準備状況が報告された。日本機械学会計算力学技術者資格認定事業に関係して、参加者への告知情報などが報告された。
- 2 開催準備状況が報告された。
- 3 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS 等およびディスカッションボードの状況が報告された。学会誌の公開及び準備状況が報告された。
- 4 IPA からの脆弱性に関する報告が周知された。セキュリティ教育について告知された。
- 5 学会ウェブサイトの整備状況が報告された。
- 6 論文の投稿及び公開について報告された。技術書典およびブースでの売り上げが報告された。委員長の交代について報告された。
- 7 Unofficial OpenFOAM Wiki - Local User Group の更新が報告された。シンポジウムでは英語での発表が可能であることを明記することを確認した。
- 8 OpenFOAM の翻訳準備状況が報告された。
- 9 総会付帯講習会で OpenModelica 講習を実施することが報告された。
- 10 V&V の対象としてキャビティ流れを候補とし、検討を進めることが報告された。
- 11 実施課題を募集中であることが報告された。
- 12 田辺賞候補者の情報提供が依頼された。
- 13 Web サイト運営の状況が報告された。
- 14 協賛依頼等の状況が報告された。

2.4.2 第 2 回理事会

開催方法 電子メールによる表決

開催期間 2025 年 6 月 10 日～6 月 11 日

議案	決議事項	第 1 号議案 『2024 年度事業報告書』
		第 2 号議案 『2024 年度決算報告書』
		第 3 号議案 『2025 年度事業計画書』
		第 4 号議案 『2025 年度収支予算書』
		第 5 号議案 『理事及び監事の改選』
		第 6 号議案 『2026 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

会議の概要

(議決結果)

第 1 号議案 『2024 年度事業報告書』

第 16 回定時社員総会に提案する第 1 号報告 『2024 年度事業報告書』 について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 2 号議案 『2024 年度決算報告書』

第 16 回定時社員総会に提案する第 1 号議案『2024 年度決算報告書』について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 3 号議案 『2025 年度事業計画書』

第 16 回定時社員総会に提案する第 2 号議案『2025 年度事業計画書』について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 4 号議案 『2025 年度収支予算書』

第 16 回定時社員総会に提案する第 3 号議案『2025 年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 5 号議案 『理事及び監事の改選』

第 16 回定時社員総会に提案する第 4 号議案『理事及び監事の改選』について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 6 号議案 『2026 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

第 16 回定時社員総会に提案する第 5 号議案『2026 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について、理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

2.4.3 第 3 回理事会

開催場所 横浜国立大学船舶海洋工学棟 303 講義室
開催日時 2025 年 6 月 14 日 16 時 45 分～16 時 50 分
議案等 決議事項 第 1 号議案『2024 年度事業報告書』

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『2024 年度事業報告書』

第 16 回定時社員総会に提案する第 1 号報告『2024 年度事業報告書』について、第 2 回理事会資料の一部に誤記があったため、その部分を修正して提案するものである。この修正に伴い、監査結果をその報告書に対するものに改めるものである。理事全員の賛成により可決された。

2.4.4 第 4 回理事会

開催場所	横浜国立大学船舶海洋工学棟 303 講義室
開催日時	2025 年 6 月 14 日 18 時 00 分～18 時 15 分
議案等 決議事項	1. 代表理事について
協議事項	1. オープン CAE シンポジウム 2025 について 2. オープン CAE シンポジウム 2026 について 3. 学会誌夏号の執筆者募集について 4. 日本機械学会流体工学部門企業連携活性化 WG との講習会共同開催について

会議の概要

(決議事項)

1. 前期（2024 年度）第 9 回理事会での決定どおり，今期の代表理事・会長を中川理事，副会長を西理事とすることが決定された。

(協議事項)

1. オープン CAE シンポジウム 2025 の準備状況が報告された。関連学協会への協賛依頼や基調講演者について協議した。
2. 開催地を石川県とし、実行委員長を金沢工業大学福江理事に依頼することを決定した。
3. 現在の執筆予定者が報告され、更なる執筆者の募集が報告された。
4. 日本機械学会流体工学部門の企業連携活性化 WG と講習会を共同開催する方向で進めることが報告された。開催方法、その他の懸念点について協議した。

2.4.5 第 5 回理事会

開催場所	オンライン
開催日時	2025 年 8 月 9 日 13 時 00 分～17 時 00 分
議案等 協議事項	1. オープン CAE シンポジウム 2025 について 2. オープン CAE シンポジウム 2026 について 3. 学会誌夏号について 4. 学会誌の会員外有償化について 5. 日本機械学会流体工学部門企業連携活性化 WG との講習会共同開催について 6. 内規の整理について 7. 総会での意見・コメントについて
報告事項	1. 講習会委員会 2. オープン CAE サマースクール 2025 3. 広報、コミュニティ委員会 4. 情報セキュリティ委員会 5. Web 編集委員会 6. 出版、編集委員会 7. 国際化推進委員会 8. 資料翻訳委員会 9. モデルベースデザイン小委員会 10. V&V 小委員会 11. HPC 小委員会 12. AI・機械学習小委員会 13. 表彰委員会 14. Web サイト運営

会議の概要

(協議事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2025 の準備状況が報告された。参加申し込み方法、参加登録費、協賛依頼先等について協議した。
- 2 オープン CAE シンポジウム 2026 の準備状況について報告された。開催日等について協議し、他学会との重複を確認したため日程を変更することとした。
- 3 学会誌夏号の準備状況が報告された。確認が依頼され、修正後に発行することが了承された。
- 4 会員外へ学会誌を有償にて公開することについて協議した。税務関係の問題点を確認した上で、非会員には有料で販売することを決定した。
- 5 オープン CAE シンポジウム 2025 において共同開催する準備を進めていることが報告された。懸念点が共有された。
- 6 内規類の現状について報告された。最低賃金の上昇に伴い、謝金規定を改定することとした。
- 7 総会で会員から寄せられた意見・コメントについて確認した。対応の必要性について協議した。

(報告事項)

- 1 3月講習会の収支、6月講習会のアンケート結果および収支などが報告された。12月シンポジウムでの講習内容募集が報告された。講習資料や環境のライセンスについて議論した。
- 2 開催準備状況および参加申込状況が報告された。
- 3 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS 等およびディスカッションボードの状況が報告された。
- 4 セキュリティ教育について告知された。
- 5 学会ウェブサイトの整備状況が報告された。
- 6 技術書典およびブースでの売り上げが報告された。
- 7 Unofficial OpenFOAM Wiki - Local User Group の更新が報告された。シンポジウム 2025 ウェブサイトで英語発表が可能であることを明記するよう依頼があった。
- 8 横浜勉強会において、過去の OpenFOAM 翻訳に関する意見があったことが報告された。過去の翻訳は修正せず、今後の翻訳時に考慮することが報告された。
- 9 勉強会等の機会を活用して OpenModelica 利活用事例や発表増につなげたいとの報告があった。
- 10 現状が報告された。
- 11 スパコン・クラウド利用に関する情報は小委員会の Gitlab にて参考資料として公開することが報告された。実施課題を募集中であることが報告された。
- 12 小委員会メンバーでコミュニケーションツールを立ち上げたことが報告された。
- 13 田辺賞候補者の情報提供が依頼された。これまでの候補者リストが共有された。
- 14 Web サイト運営の状況が報告された。

2.4.6 第6回理事会

開催場所 オンライン

開催日時 2025 年 10 月 11 日 13 時 00 分～17 時 00 分

議案等 決議事項 1. アルバイト規定の改定について

協議事項 1. オープン CAE シンポジウム 2025 について

2. オープン CAE シンポジウム 2026 について

3. 日本機械学会流体工学部門企業連携活性化 WG との講習会共同開催について

4. 内規の整理について

- 報告事項
5. 今年度田辺賞候補について
 1. 講習会委員会
 2. オープン CAE サマースクール 2025
 3. 広報、コミュニティ委員会
 4. 情報セキュリティ委員会
 5. Web 編集委員会
 6. 出版、編集委員会
 7. 国際化推進委員会
 8. 資料翻訳委員会
 9. モデルベースデザイン小委員会
 10. V&V 小委員会
 11. HPC 小委員会
 12. AI・機械学習小委員会
 13. Web サイト運営

会議の概要

(決議事項)

- 1 最低賃金の上昇に合わせ、時間給を 1300 円にするアルバイト規定が提案され、可決された。労働条件通知書を作成することなどが協議された。

(協議事項)

- 1 開催準備状況、講演申込状況が報告された。運営方法等について協議された。
- 2 開催期間を 2026 年 11 月 11 日(水)から 13 日(金)までとすることが報告された。開催方法等について協議した。
- 3 準備状況が報告された。実施方法の詳細について協議した。
- 4 内規の状況が確認された。今後の管理方法について協議した。
- 5 田辺賞受賞者について協議し、東洋大学藤岡先生を候補に推薦することを決定した。学生表彰については、例年通りの審査手続きとすることを確認した。

(報告事項)

- 1 講習会の収支改善案について報告された。シンポジウム講習会の実施内容について報告された。
- 2 8 月 29 日から 31 日に開催されたサマースクールについて報告された。対面 8 名、オンライン 6 名の参加があった。
- 3 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS 等およびディスカッションボードの状況が報告された。第 47 回関東 CAE 懇話会に学会として賛助会員ブースを出展することが了承された。
- 4 セキュリティ教育の実施が報告された。
- 5 学会ウェブサイトの整備状況が報告された。
- 6 技術書典およびブースでの売り上げが報告された。
- 7 現状が報告された。
- 8 ParaView 翻訳の更新状況が報告された。
- 9 シンポジウムでの講習および講演の予定が報告された。
- 10 現状が報告された。
- 11 東大 Miyabi の教育利用として、OpenFOAM の GPU 移行をテーマとして申請する計画であることが報告された。
- 12 小委員会メンバーでコミュニケーションツールを立ち上げたことが報告された。

13 シンポジウムでの講習および講演の予定が報告された。

14 Web サイト運営の状況が報告された。

2.4.7 第7回理事会

開催場所	足利商工会議所 友愛会館会議室
開催日時	2025 年 12 月 13 日 12 時 30 分～13 時 00 分
議案等 決議事項	1. 今年度田辺賞および学生表彰について
協議事項	1. オープン CAE シンポジウム 2026 について
報告事項	1. 講習会委員会 2. 広報、コミュニティ委員会 3. 出版、編集委員会 4. HPC 小委員会 5. AI・機械学習小委員会 6. Web サイト運営

会議の概要

(決議事項)

- 1 田辺賞の表彰方法について確認された。学生表彰について、受賞者数を3件程度とすることを決定した。

(協議事項)

- 1 準備状況が共有され、協議された。

(報告事項)

- 1 2026 年度 3 月開催の講習会テーマを募集中であることが報告された。前日に開催された講習会の状況が報告された。
- 2 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS 等およびディスカッションボードの状況が報告された。
- 3 2025 年秋号の学会誌を会員向けに発行したこと、会員外向けに有償版を 12 月中に販売開始する予定であることが報告された。冬号は 2 月に発行予定である。
- 4 東大 Miyabi の教育利用として、OpenFOAM の GPU 移行を実施中であることが報告された。
- 5 シンポジウムでの講習および講演の結果が報告された。
- 6 ウェブサーバーの問題について報告された。

2.4.8 第8回理事会

開催場所	オンライン
開催日時	2026 年 1 月 24 日 13 時 00 分～17 時 00 分
議案等 協議事項	1. オープン CAE シンポジウム 2025 について 2. オープン CAE シンポジウム 2026 について 3. 日本機械学会流体工学部門企業連携活性化 WG との講習会の共同開催について 4. 2026 年総会について 5. 2026 年度事務局業務委託について 6. 会員資格の区分・確認方法について

報告事項	1. 講習会委員会
	2. オープン CAE サマースクール 2026
	3. 広報、コミュニティ委員会
	4. 情報セキュリティ委員会
	5. Web 編集委員会
	6. 出版、編集委員会
	7. 国際化推進委員会
	8. 資料翻訳委員会
	9. モデルベースデザイン小委員会
	10. V&V 小委員会
	11. HPC 小委員会
	12. AI・機械学習小委員会
	13. 表彰委員会
	14. Web サイト運営
	15. その他

会議の概要

(協議事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2025 の開催結果について報告された。トレーニングの延べ参加登録人数は 103 名（うち対面 45 名）、講演会の参加登録者は 107 名（うち対面 67 名）、懇親会参加者は 42 名であった。開催を振り返り、今後について協議した。
- 2 オープン CAE シンポジウム 2026 の準備状況が報告された。参加者数確保の方策や共催・協賛等について協議した。
- 3 オープン CAE シンポジウム 2025 で共同開催した講習会について報告があった。機械学会 WG の報告内容等について共有された。今後のよりよい開催に向けて協議した。
- 4 2026 年社員総会の開催日時、場所について協議した。
- 5 学会事務局業務を今年度と同様に中山氏へ委託することが了承された。
- 6 学生会員（社会人学生）等の取扱いについて、他学会などを参考に検討することが協議された。

(報告事項)

- 1 シンポジウムトレーニング参加者アンケートの分析結果が報告された。3 月 14 日に OpenLB（格子ボルツマン法）講習会を岐阜で実施することが報告された。
- 2 開催準備状況が報告された。
- 3 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS 等およびディスカッションボードの状況が報告された。
- 4 7zip のセキュリティ問題などが共有され、OS アップデートなどセキュリティ強化が要請された。
- 5 学会ウェブサイトの整備状況が報告された。
- 6 シンポジウム発表者へ論文投稿を呼びかけることが報告された。技術書典およびブースでの売り上げが報告された。学会誌 2026 年冬号を会員向けに 3 月に発行する予定であることが報告された。
- 7 Unofficial OpenFOAM Wiki の更新ができない状況が報告された。
- 8 翻訳準備状況が報告された。
- 9 シンポジウムでの講習と講演について報告された。
- 10 現状が報告された。
- 11 OpenFOAM の GPU 移行課題の実施状況が報告された。
- 12 委員会開催の準備状況が報告された。

- 13 表彰状の発送作業などが報告された。
- 14 ウェブサイトトラブルの分析、Web サイト運営の状況が報告された。
- 15 田村監事より、次年度開始前に決算見込み資料、事業計画、収支予算などを準備することが要請された。

2.4.9 第9回理事会

開催場所	オンライン
開催日時	2026年3月21日 13時00分～17時00分
議案等 決議事項	1. 2026年事業計画および収支予算について
協議事項	1. オープン CAE シンポジウム 2025 について 2. オープン CAE シンポジウム 2026 について 3. 2026 年総会について 4. 会員資格の区分・確認方法について 5. 学会誌における賛助会員の謝金の取り扱いについて
報告事項	1. 講習会委員会 2. オープン CAE サマースクール 2026 3. 広報、コミュニティ委員会 4. 情報セキュリティ委員会 5. Web 編集委員会 6. 出版、編集委員会 7. 国際化推進委員会 8. 資料翻訳委員会 9. モデルベースデザイン小委員会 10. V&V 小委員会 11. HPC 小委員会 12. AI・機械学習小委員会 13. 表彰委員会 14. Web サイト運営 15. その他

会議の概要

(決議事項)

- 1 事業計画書と予算概要が提案された。内訳や見積もりに不十分な部分があることから、資料を修正した上で次回理事会で審議することとした。

(協議事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2025 の収支等について報告された。学会誌に開催報告を投稿することが報告された。
- 2 準備状況が報告された。
- 3 2026年6月13日(土)に亀戸文化センターで開催することを決定した。
- 4 学生会員（社会人学生）等の取り扱いについて、他学会などの状況等が報告された。学生会員は正規学生（研究生、科目履修生は除く）に限定すること、学生を本務としない社会人についても対象外とすることを決定した。2026年6月総会で告知し、2027年から運用することとした。シニア会員制度については、今後の検討課題とする。

- 5 賛助会員からの学会誌寄稿について、その取り扱いを協議した。コマーシャル記事の場合、謝金なしとし、校閲することとした。通常記事の場合には、正会員と同様の謝金の扱いとすることとした。

(報告事項)

- 1 3月14日のOpenLB（格子ボルツマン法）講習会実施について報告された。対面10名、オンライン22名と盛況であった。総会付帯講習会のテーマが議論された。
- 2 開催準備状況が報告された。OpenFOAM 中級編：メッシュ作成をテーマとし、8月28日(金)～30日(日)に三重県鈴鹿市のスズカトを会場とする。
- 3 賛助会員との連絡状況が報告された。SNS等およびディスカッションボードの状況が報告された。
- 4 OSアップデートなどセキュリティ対策が要請された。
- 5 学会ウェブサイトの整備状況が報告された。
- 6 シンポジウム実行委員長から発表者へ論文投稿の勧誘が送られたことが報告された。技術書典およびブースでの売り上げが報告された。学会誌2026年冬号を会員向けに3月中に発行することが報告された。2026年度からは、季節ではなく数字の号数とする。
- 7 現状が報告された。
- 8 現状が報告された。
- 9 シンポジウム2026に向けてセミナーを開催する意向が報告された。
- 10 現状が報告された。
- 11 OpenFOAMのGPU移行課題の実施状況が報告された。
- 12 第1回委員会の開催が報告された。
- 13 現状が報告された。
- 14 Webサイト運営の状況が報告された。
- 15 会議室等利用登録状況が報告された。江戸川区施設予約システム、江東区文化コミュニティ財団へ登録されている。学会イベントでの使用が可能である。